



■被災地出張授業……2013年 10月25日

働くこととは —社会で求められる人材

講師：杉江 和男 学校と経営者の交流活動推進委員会 委員長(DIC 取締役会長)

2013年10月25日、IPPO IPPO NIPPON プロジェクトによる被災地出張授業が行われた。今回は、杉江和男(学校と経営者の交流活動推進委員会委員長)が岩手県立久慈東高等学校を訪れ、1年生約200名を対象に、働くこと、社会で求められる人材について語った。



社会で求められるのは 意欲と行動力を持つ人材

社会はどのような人材を求めているのでしょうか。有名校の出身者か？ 成績が良い人か？ 専門知識が豊富な人か？ 協調性が高い人か？ 行動力がある人か？ 意欲にあふれる人か？

経済同友会で企業にアンケートを行った結果、高校、専門学校、大学・大学院修士課程のどの学生に対しても、「意欲・行動力・協調性のある人」が求められていることが分かりました。

「進化論」で知られるチャールズ・ダーウィンは、「生き残るのは最も強い者ではなく、最も賢い者でもない。唯一生き残るのは、変化できる者である」という言葉を残しています。世の中は常に変化しており、その変化に意欲を持って対応できる適応力のある人材が生き残ることができます。

乗り物の変遷を見れば、それが分か



ります。明治時代に速さを求めて人力車が登場し、大正時代には大量輸送のため蒸気機関車が開発されました。さらに、昭和初期には利便性を求めてガソリン車が、2000年代からは環境保護のためにハイブリッドや電気自動車が、そして2015年からは燃料電池車が登場するようです。

このように、時代により乗り物の役割は変化し、企業はその変化に対応してきました。そうした変化に対応できるのは、考える意欲と行動力を持つ人材なのです。

お互いを尊重し 助け合うことが大切

協調性については、どうでしょうか。社会はさまざまな企業や人がかかわって成立しています。例えば、ポテトチップスが皆さんの手に届くまでには、ジャガイモ生産農家、ポテトチップスのメーカー、販売店という生産・流通ルートをたどります。その間には、種芋農家、芋掘り機や肥料・農薬メーカー、運送会社や商社、お菓子袋メーカー、スライス機械のメーカー、香辛料・調味料メーカー、広告会社など数多くの企業や人がかかわっています。

このように社会では多くの仕事が共同で行われています。職業に上下はありません。そして、多くの人々が協働するためには、お互いを尊重し助け合

ことが大切です。そこで求められるのが協調性なのです。

夢や興味を持とう！

人は何のために働くのでしょうか。お金を稼ぐため？ 自分を成長させてプライベートを充実させるため？ 人の役に立ち社会貢献するため？ どれも正解です。その中でも、私が特に強調したいのは「人の役に立つ」ことです。

「働くこと」とは、社会のためになることなのです。私たちがより優れた仕事をすることで、企業や団体は良い製品やサービスを提供し、税金を払い、雇用を生み出して日本の社会に貢献します。さらに、それは住みやすい環境をつくることにつながり、国際社会への貢献にもなります。

皆さんに言いたいのは、「やりがいのある仕事をするためには夢や興味を持とう」ということです。「学ぶこと」は生涯続きます。夢や目標を持っていれば、それに向かって努力することができます。それが社会への貢献と自分の幸せの両方につながります。

そのために、今は学校での勉強、部活、習い事などを通して基礎学力を身に付けるとともに、自立心、行動力、人間性、協調性、健康などを養いましょう。学校も小さな社会であり、今皆さんが学んでいることは、社会に出て必ず役に立つはずで

生徒との質疑応答

Q 今までの仕事の中で、一番つらかったことは何ですか？

A 製造現場の管理の仕事をしていたときに、5トンの反応釜で合成樹脂が固まってしまいました。おかげで大きな損害を出したのですが、同時にその処理を現場の人と一緒に汗を流して行うことで、強い仲間意識と信頼感が生まれました。誰にでも失敗はあるけれど、それをプラスにする努力が大

切です。仕事の80%はつらいことかもしれませんが、残りの20%の喜びが大きいです、それが社会の役に立つからこそ、私たちは仕事を続けることができるのだと思います。

Q これからの目標は何ですか？

A 現在、私は会社で会長を務めています。その立場で、できるだけ従業員が喜んで仕事のできる会社になりたいと考えています。そのためには良い製品を作って、世の中に提供していくことが何よりも大切です。当社では安全な天然品のスピルリナから皆さんもご存じのガリガリ君ソーダ味の“水色の色素”を作っています。そうした新しく社会の役に立つ製品を、これからもどんどん提供したいと思

Q 仕事をする上で大切にしていることは何ですか？

A まず一つは「できるだけ早くやる」ことです。仕事はなるべく明日に延ばさずに、今日やるように心掛けています。早くやることで、どこが問題なのかが分かり、たとえ失敗してもやり直しがききます。二つ目は「できるだけ人のことを考える」ということです。自分が「こういう製品を作ったら売れるだろう」と思っても、お客さまがそれを買いたいと思わなければ売れません。ですから、お客さまの話にはできるだけ耳を傾けるようにします。例えば私の妻は保険のセールスをしていますが、保険の商品は各社で違いがあり、加入者には分かりにくいという現実があります。セールスの方がお客さまのことをよく考えて、信頼を得ることができれば売り上げも向上します。それと同じように私も相手のことをよく考えて、信頼されるように努力しています。



生徒の感想

●将来役に立つことをたくさん教えていただきました。高校生のうちにすべきことや、社会で通用する人はどんな人かなど、体験を交え話していただき、ありがとうございました。教えていただいたことをしっかり頭に入れて高校生活を過ごしたいと思います。

●私が一番印象に残っていることは、「学ぶ」ことは生涯続くということです。また、自分と社会はWin-Winの関係にあるということもとても印象的でした。

●単に仕事をするのではなく、やりがいのある仕事をしたいです。今から小さな目標を立て、勉強したいです。そして、その結果からまた新たな問題を見つけ、それを改善していけるよう、努力できる人になりたいと思います。

●高校生の今の時期が将来にかかわってくるのが分かりました。勉強や部活など目標を持って生活し、一生懸命取り組んでいきたいです。

●社会が求める能力は、学歴は関係なく意欲が飛び抜けて1位でした。知識があっても技術があっても人間性に欠けていれば、どんな職業でも採用は難しいのだと思

ました。今回の講演で学んだことを今後に活かしたい。

●勉強は好きではなく、やる気もなかったのですが、夢をかなえるために頑張ろうと思いました。これからの高校三年間で、何をすべきか、どうやったら目標が達成できるかを考えていきたいと思います。

●将来働くために何が必要か勉強になりました。今やるべきことは、やはり勉強をしっかりと理解することです。理解すれば、そこから楽しさも生まれてくるので、これから心掛けていきたいと思います。

●今の生活で変われることはたくさんあると思います。部活動などもそうです。今できることは、やはり今学ぶことなのでしょう。将来やりたいことや目標が見つかった時に自分が苦労しなくて済むように、今の私がしっかりとやっていこうと思いました。

●環境への変化を知って、住みやすい社会をつくることは良いことだと思いました。意欲のある人はより優れた仕事をし、生き残る企業はより良い製品・サービスをつくり、先進国は住みやすい環境をつくる。これからの時代の人たちが頑張らなければいけないと思いました。